

令和4年度

事業報告

特定非営利活動法人 南風会

1. 利用状況 (日平均)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ステップ増穂	43	42	45	43	41	43	43	43	42	42	45	46
ステップ増穂Ⅱ	31	30	30	29	27	30	30	31	31	29	32	32
計	74	72	75	72	68	73	73	74	73	71	77	78

2. 障害別登録者状況

R5、3月末現在

ステップ増穂

障害名	富士川	市川三	南バス	中央市	身延町	南部町	昭和				計
知的障害	5	5	9	5	5	1					30
精神障害	13	3	5	4	4						29
身体障害	1										1
発達障害	2	1		1							4
難病		1									1
計	21	10	14	10	9	1					65

ステップ増穂Ⅱ

障害名	富士川	市川三	南バス	中央市	身延町	南部町	昭和	富士吉			計
知的障害	5	2	3	2	5		1	1			19
精神障害	9	2	4		1		2				18
身体障害	2		2		3						7
発達障害		1									1
計	16	5	9	2	9		3	1			45

3. 就労実績

就職実績 無し

4. 作業

※ 菓子（甘納豆・ゼリー）の袋詰め・シール貼り

利用者：約35名（他の作業班との兼務を含む）

職員：4名

作業では、秋からの全国旅行支援が開始された関係で、夏場からのお土産商品の受注が増加した。新型コロナウィルス感染症の状況が落ち着いてきた事もあり、甘納豆・ゼリーの詰め作業量は一年を通して減ることはなく、前年度に比べ増加した。

八雲以外の作業では、割烹立よしさんからの作業依頼を受け、商品のシール貼り・袋詰めのパッケージ作業を行い、作業量は伸びてきている。

支援では、利用者さんのご希望・目標を最優先に考え、安心して作業に向かえるようサポー

トをしてきたことで、利用者さんの通所に数が増加した。また、メンバーさん同士が、良好な関係を築きながら作業を行えるように、メンバーさんの気持ちに寄り添い支援を行ったことで、作業意欲の向上や工賃アップにつながった。

【作業量の確保と工夫（環境整備を含む）】

- 企業との密な連絡
 - ・作業をステップに回していただけるように、八雲製菓（株）と密に連絡を取らせていただき、作業をまわしていただいた。
- 他の作業との連携
 - ・繁忙期の作業班への応援や、他の作業（果物ネットやネジ箱の箱折り）作業等で行う事をしながら、作業の確保に努めた。
- 刻印や段ボールの準備
 - ・日中時間内でメンバーさんに刻印の印刷、ダンボールの準備を行なった。

※ 箱折り・封筒の袋入れ 約 11 人

お中元・お歳暮の箱折り作業に取り組んだ。ソーワカートンの箱折り作業に加え、山中産業の箱折り作業にも取り組んだ。仕切の折り、フタ・身の折り、セットの工程を全員で取り組み仕上げることができた。

八雲製菓の作業量が多い時には、甘納豆、ゼリー、ボンボンの袋詰めの計量、シーラー、シール貼りをも行い、柔軟な対応をすることができた。

座り作業で、静かな環境で作業することができた。

今後も箱折り作業を中心にくつつの作業を取り入れ、バランスを取りながら進めていく。

ステップ増穂Ⅱ 定員 30 名

※ダンボール作業

現在 3 か所の事業所から作業を受託している。

各事業所で受託量のばらつきはあるが全体量とすると過剰状態にはならずに取り組むことができている。

協和パッケージの作業。

バリ取り、組み立て、貼り付けの工程、段ボール製品の袋詰め等を行っている。

バリを取る工程、抜きの工程、貼りの工程と複数の工程を各パートに分け作業を行っている。

ズレや剥がれが不良となってしまうため丁寧な作業が求められるが工程が分かりやすく皆が関わりやすい作業となっているため多くの方が関わることができている。

2022 年度はコロナの影響を受けることなく注文数が多く、納品を間に合わせることに苦労する一年となった。

土橋段ボールの作業（組仕切り）。

アルコール飲料を段ボールで出荷する際に使われる仕切りの作成を行っている。2023 年度は新たな組仕切りの注文も入り通年を通して安定して作業がある。

誰もがわかりやすく取り組みやすい作業である点で人を選ばず作業ができている。定期で入ってくる作業とは別に単発の作業も豊富にあるため他の作業が減ってきた場合の補充として作業を取り入れることが可能となっている。

豊玉紙器の作業

自動車部品に使われる組仕切りが中心。ウレタンの貼りなどを含め 3 種類ほどの作業を受託している。

分かりやすく扱いやすい物なので負担なく作業ができている。

2022 年度は半導体の影響で注文のキャンセルや注文数の減少が見られたが余裕をもって材料を提供していただける点などで負担なく取り組むことができている。

※ 箱（中元・歳暮用）作り

ソーワカートンの中元・お歳暮用の箱作り（箱折り）を、4月～6月・9月～11月の期間限定の作業として、Ⅲとマルアイ作業班を中心に取り組んだ。折りやすい中敷きの部分と、要領とコツが必要な外箱を折るメンバーを分けて、短期集中で取り組んだ。

作った箱は、百貨店に並び、贈り物として使われるということを常に意識しています。また、「良い箱を作り、お客様のもとへ」をスローガンに掲げ、箱への傷、へこみ、変色、仕切りの入れ忘れはないかを常に意識しながら、良品を出荷することを常に考え作業を行った。

【施設外就労】

一般の企業・事業所で作業に取り組むことで、施設の中ではできない体験を通して、仕事についての学習や就労意欲の向上や工賃アップなどを目的として取り組んだ。

※ まほらの湯・町福祉課・社会福祉協議会の清掃 約8人

まほらの湯（月・木・金）7人 町福祉課（火）4人 社協（木）3人

一般企業の中での作業と学習を行う。

5. 工 賃

何とか自力で生活を！ をめざし工賃アップに取り組んだ。 (円)

年度	R 1	R 2	R 3	R 4			
ステップ 増穂	20,160	18,377	20,582	20,164			
ステップ 増穂Ⅱ			18,944	20,404			

6. 研 修

サビ管更新研修 野中

内部研修 全体

他、新型コロナウィルス感染症の影響で、中止

7. 行事・レクレーション（クラブ）

※作業班別食事会

※日帰り旅行

※一泊旅行

※新年会

※クラブ活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため全て中止とした。

8. 送迎

新型コロナウイルス感染症の感染予防の対策として、ステップ増穂とステップ増穂Ⅱとで、別々の送迎便での対応を行った。

※ステップ増穂

身延コース 身延・六郷・鰍沢 8名

豊富コース 中央・豊富 7名

市川コース 市川・富士川 6名

白根・昭和コース 白根・南プロ 6名

富士川コース

※ステップ増穂Ⅱ

六郷・身延コース 身延・久那土・市川 8名

昭和コース 昭和・南プロ 8名

白根コース 南プロ

近隣コース 富士川町内 11名

9. 健康診断

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、健診の受付が出来ず、健診を受けられなかったが、今年度は、地域での検診を様々な理由で受けられない利用者さん約30名が健診を受けた。職員の健診は、個人的理由で2名が受けなかつたが、残り20名は実施した。

10. 苦情解決

利用者間のトラブルがあつたがその場で解決出来、苦情の申し出は0件、定期的の聞き取りを実施した。

11. 支援学校等体験実習

養護学校生徒の、仕事の体験と卒業後の進路を決める一助として、実習の場として受け入れした。

わかば支援学校	1期	5月	12日～	5月	27日	3名
	2期	9月	13日～	9月	30日	1名

12. 防災

避難訓練を 2月 28日

3月 31日 2回実施

※グループホーム

それぞれの生活に合わせて世話人、生活支援員のサポートを受け生活の組立てを行っている。

年々高齢化が進み、今後の課題としては日中活動の確保、生活の安定、医療面との連携等、いろいろな機関とのつながりを考えていく必要がある。

コロナの集団感染があり、対応に苦慮した。法人全体の職員の応援を受け、対応を行った。

13. 総 括

- ・この1年も新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年であった。通所時の検温、マスク着用、手洗いの徹底、休憩時や食事時の距離間隔等、また、休日の外出を控えるようお願いをするなど、昨年からと同様な対応を継続した。また、感染防止の観点から、人が集まるクラブ活動や食事会、旅行、健診等はすべて中止とし、職員の研修もほとんどが中止となった。
- ・個別支援計画を基に個々の利用者の目的・目標また課題等を職員間において共有し、日々の作業を通して支援に取り組んだ。
- ・各作業班ごとのケース会議を開催して3年目、課題や成果の明確化や、より具体的な支援が行えるように取り組み情報の共有が図れたが、作業量の関係で毎月は開催できなかつた。
- ・作業選択として選べる環境を提供でき、箱折り等スポットでの作業には、班にこだわらず柔軟な受け入れや対応ができた。
- ・日中一時のサービスを市町村と契約して、移行や就労継続支援以外の形での受け入れを行い、地域の資源として役割を担った。